

株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
期末配当金受領株主確定日	9月30日
中間配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年12月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
(お問い合わせ先)	電話(通話料無料)0120-094-777
公告方法	日本経済新聞に掲載する方法により行う

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待

9月末日(決算期末)現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上所有される株主さま1名につき、当社オリジナル製品「GREEN WOOD手作りジャム」1セットを贈呈いたします(12月初旬発送予定)。家庭でつくるように、果実を糖と果汁のみで煮詰めました。果肉たっぷり、当社が自信をもってお勧めする製品です。

●所有株式数100株以上

詰め合わせ例※

- いちごジャム(320g)
- ブルーベリージャム(330g)
- オレンジマーマレード(330g)

2,200円相当

※詰め合わせの内容は変更させていただきます場合があります。



●所有株式数1,000株以上

- いちごジャム
- ブルーベリージャム

(各530g)

3,230円相当



第67期 報告書

| 平成24年10月1日から平成25年9月30日まで |

トップメッセージ	1
長期ビジョン	2
事業内容	3
連結決算概要	4
主要な事業の概況	5
連結財務・業績ハイライト	6
ニュース・クローズアップ	7
CSRへの取り組み	9
連結財務諸表	11
個別財務諸表/株主アンケート結果	13
会社情報・株式情報	14



加藤産業株式会社

証券コード: 9869

<http://www.katosangyo.co.jp/>

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



証券コード: 9869



JQA-EM4237



代表取締役社長 加藤 和弥

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第67期における食品流通業界は、国内の雇用情勢、所得環境及び個人消費の一部で明るさが見られるものの、電気料金の上昇、円安による商品の値上げ、平成26年4からの消費税増税による負担増等により、生活防衛意識・節約志向が継続する中で、企業間競争は一層激化し、円安等によるコスト増も加わり引き続き厳しい経営環境で推移しました。

こうした中において加藤産業グループは、卸売業としての基本機能である営業と物流が連携をとりながら総合力を発揮し、お取引先さまとの取り組みを一つひとつ積み重ねることで「つなぎ」を一層強化し、皆さまの豊かな食生活の実現に向けて、流通全体の最適化を目指していく所存であります。

さらに、今後は海外事業を当社グループの成長戦略の一つとして位置付け、今まで培ってきた日本式卸のビジネスモデルやノウハウを活かして事業を拡大し、より存在価値の高い企業を目指して一步一步進化を続けてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

社 是

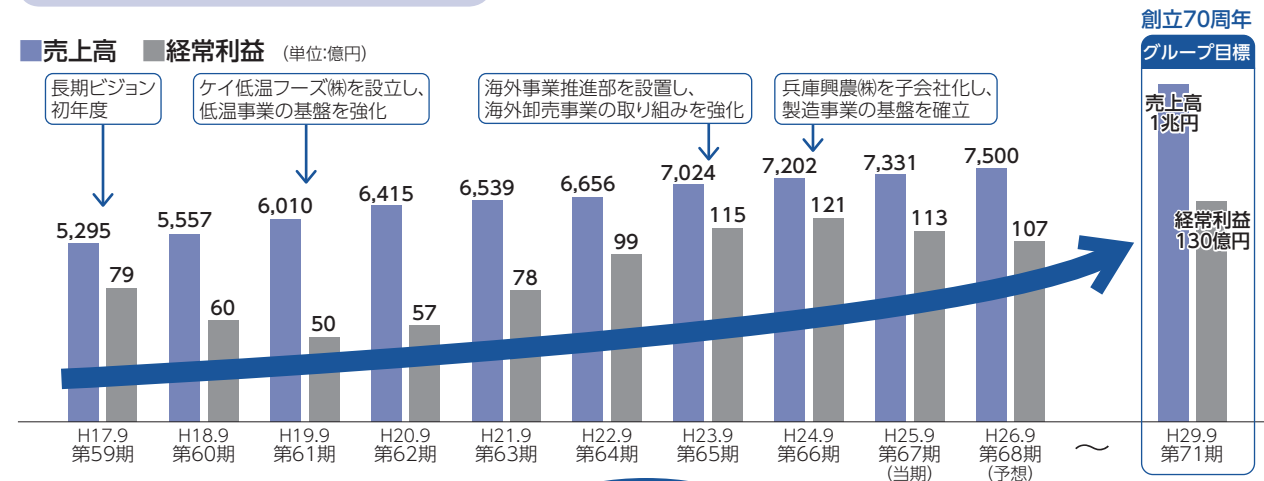
能力を啓発し機能を充実し
生販両層にとって最も価値
ある存在として周囲の人々の
生活を豊かに実らせ 其處に
社会性を有する企業として
永遠の発展を礎きあげる。

長期ビジョンとその達成のために

私たち加藤産業グループでは、今の時代に最も求められる企業像「強くて優しい会社」の実現を目指し、具体的な施策を盛り込んだ中長期的な戦略を進めています。この計画の一つひとつを確実に遂行することによって、さらに成長し続けます。

グループ目標
長期ビジョン
売上高 **1兆円** 経常利益 **130億円**

創立70周年である平成29年(2017年)に、独立した全国卸売業としての存在感を維持、アピールするための企業規模と収益を確立します。また、次代の成長を見据え、一層の機能強化を図る投資を継続する原資確保のため、経常利益130億円の達成を目指します。



◎=連結子会社 ○=持分法適用非連結子会社 △=持分法適用関連会社 ※平成25年9月30日現在



プライベートブランド

Private Brand

消費者や小売店さまの多様なニーズにお応えするために、独自で商品の開発・製造・輸入を行っています。

お客さまの買いたい商品を取り揃える商品調達力

(マーチャンダイジング)

Merchandising

総合食品卸売業として、4,000社を超えるメーカーさまと取引をし、幅広い品揃えの商品を小売店さまに卸しています。

適切な時に適切なものを運ぶ物流システム

(ロジスティクス)

Logistics

高度な物流技術で、必要な時に必要なものを必要な量だけ小売店さまにお届けしています。

お客さまのニーズにあわせた売り方や商品陳列を行う売場計画力(リテールサポート)

Retail Support

消費者のトレンドに基づいて小売店さまの売場計画を立て、実行する。こうしたきめ細かい売場づくりのサポートをしています。

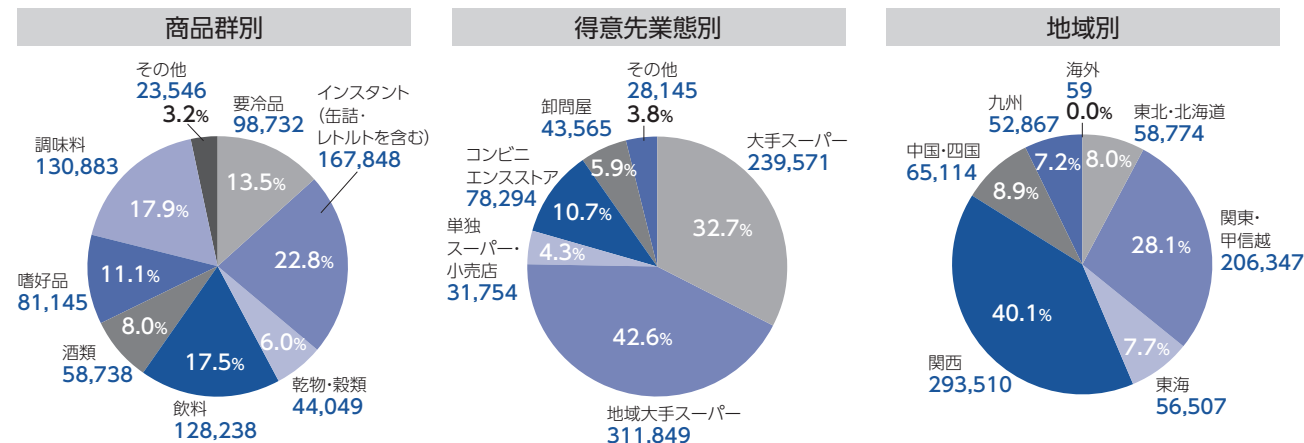


連結売上高 7,331億81百万円
 連結経常利益 113億54百万円

当社グループは、消費者ニーズに対応した商品の開発・品揃え及び店舗の売場づくり等、提案型営業を積極的に推進し、小売業をはじめ取引先との取り組みを一層強化するとともに、諸経費の抑制及び業務の生産性向上等による経営の合理化に努めてまいりました。

	前期	前年比	来期(第68期)予想	前年比
売上高	7,331億81百万円	1.8%増加	7,500億00百万円	2.3%増加
営業利益	103億3百万円	7.0%減少	98億50百万円	4.4%減少
経常利益	113億54百万円	6.6%減少	107億00百万円	5.8%減少
当期純利益	70億52百万円	5.3%増加	62億60百万円	11.2%減少

売上高構成 (単位:百万円)



主要な事業の概況

Segment Review

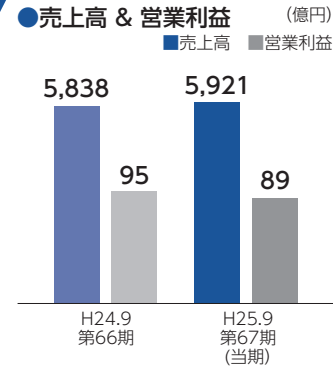
常温流通事業 (常温ドライ、家庭用食品)

売上高 **5,921億80**百万円

前期比**1.4%**増加 ↗

営業利益 **89億39**百万円

前期比**6.3%**減少 ↘



当社グループの主力事業であります常温流通事業につきましては、多様化する消費者の需要に対応すべく、提案型営業を積極的に推進し、仕入先とも連携して主要得意先との取り組みを強化するとともに、自社PB商品の開発及び拡売を図りましたが、小売業の業態を越えた企業間競争等、事業を取り巻く環境は厳しく営業利益は減益となりました。

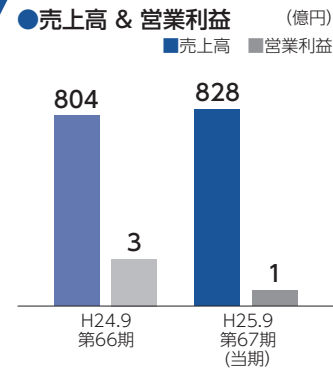
低温流通事業 (チルド、冷凍、外食用食品)

売上高 **828億22**百万円

前期比**3.0%**増加 ↗

営業利益 **1億92**百万円

前期比**43.6%**減少 ↘



低温流通事業につきましては、消費者の生活防衛意識の高まりから低価格志向にある中で、小売業の業態を越えた企業間競争により厳しい状況で推移し、家庭用チルド・冷凍及び惣菜関連商材を中心に主要得意先との取り組み強化、新規開拓により売上の拡大を図りましたが、価格競争及び物流コストの増加等により営業利益は減益となりました。

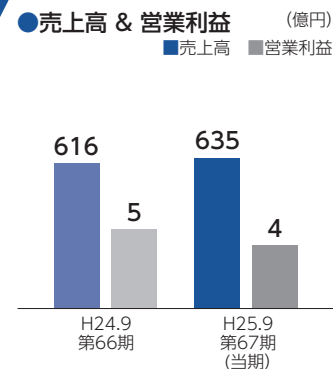
酒類流通事業

売上高 **635億89**百万円

前期比**3.1%**増加 ↗

営業利益 **4億68**百万円

前期比**7.2%**減少 ↘

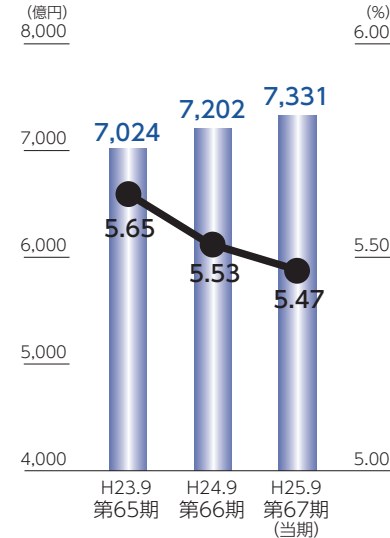


酒類流通事業につきましては、内食・家飲み層の増加は見られるものの、低価格志向が常態化しており、飲酒人口の減少及び若年層のアルコール離れ等、消費規模が縮小傾向で推移する状況下、より一層の営業力の強化に取り組み、また、メーカーの新製品投入等により飲用層が拡大しましたが、厳しい市場環境の影響により営業利益は減益となりました。

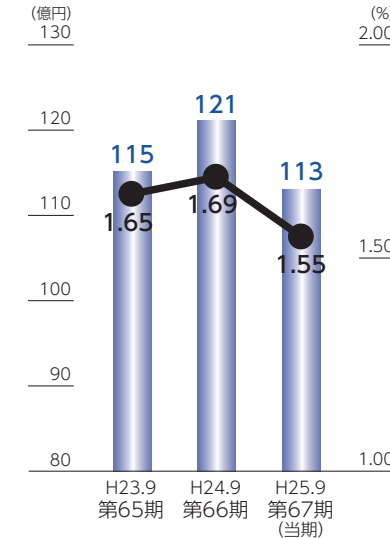
連結財務・業績ハイライト

Consolidated Financial Highlights

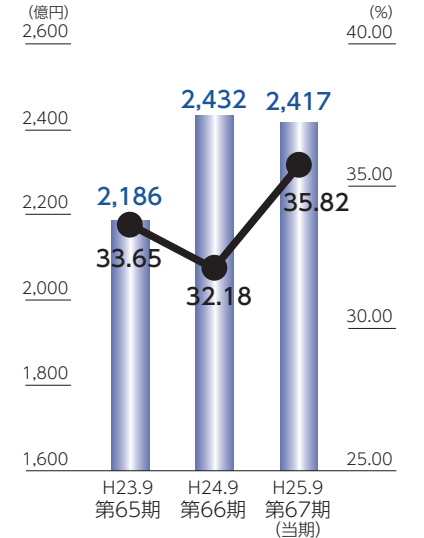
●売上高 & 販売管理費率



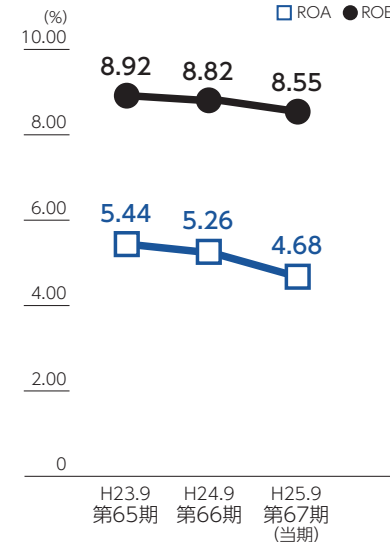
●経常利益 & 経常利益率



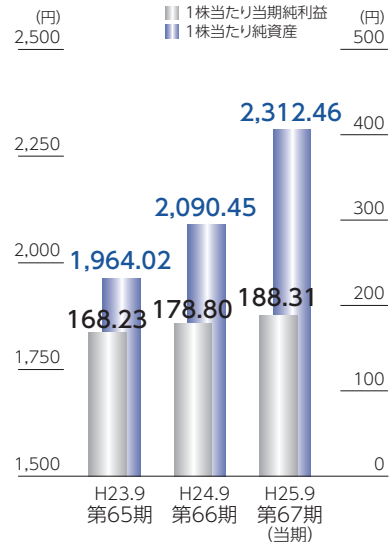
●総資産 & 自己資本比率



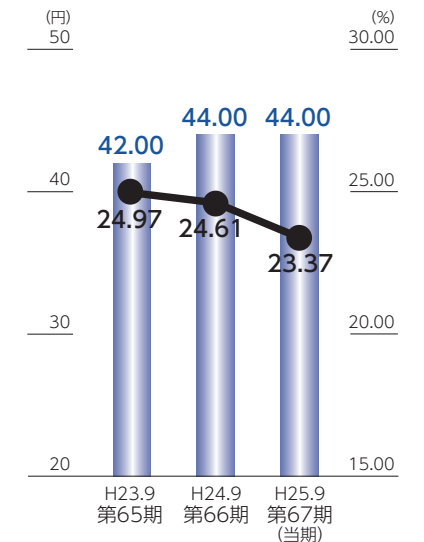
●ROA & ROE



●1株当たり当期純利益 & 1株当たり純資産



●1株当たり配当金 & 配当性向



※上記の売上高及び営業利益には、各事業間の内部取引を含めております。

海外事業の展開

■ ベトナムにおける食品卸事業会社の設立

2013年10月に加藤SCアジアインベストメント(株)の100%子会社として、ベトナムに食品卸事業会社「加藤産業ベトナム株式会社」を設立いたしました。

ベトナムは、従来の地元企業中心の小規模な流通形態から、日系及び欧米の大手スーパーやコンビニの進出、また大手食品メーカーの現地生産など大規模化が進む中で、売場と商品を有機的に結び付ける食品卸売事業の需要拡大が見込まれます。特に商品、市場の詳細分析ノウハウを活かした日本式卸は、消費者の多様な嗜好を満足させられる先進的なものです。

今後は、同国に進出した海外スーパーや地元の大規模小売業をターゲットに日本式卸売事業を展開してまいります。

【加藤産業ベトナム(株)の概要】

社名: Kato Sangyo Vietnam Co., Ltd.
所在地: ベトナム社会主義共和国
ホーチミン市
資本金: 255億ベトナムドン
(約120百万円)
設立日: 2013年10月2日
出資構成: 加藤SCアジアインベストメント(株)
100%
事業内容: 飲料、食品及び日用品の卸売、
輸出入



オリジナル商品のご紹介

■ 東日本大震災復興支援商品の継続

当社は、2011年3月に発生した東日本大震災で被災された方々を支援するための復興支援商品「カンピーファミリーサイズジャム (シリーズ全5品)」を2011年6月から製造・販売してきました。

震災被害が過去に例を見ない甚大なものであり、今後も東日本大震災の記憶を風化させることなく、継続した被災地の支援を行いたいとの思いから、復興支援を継続することにいたしました。

一日も早い被災地の復興を願い、当商品をご購入いただいたお客さまの気持ちと義援金をお預かりし、被災地の窓口を通じてお届けします。これからも被災された皆さまのお役に立てるように全力で取り組んでまいります。

復興支援商品の概要はホームページでご覧いただけます。
<http://www.katosangyo.co.jp/news/000241.html>



カンピーファミリーサイズジャム
(1商品あたり、3円の義援金)
2014年9月25日製造分まで

サステナビリティ

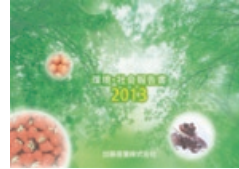
■ 太陽光発電設備の設置

当社は、全国の物流センターの屋根に「太陽光パネル」を設置し、電力会社での発電稼働低減に寄与することで、日本全体のCO₂排出量の削減に貢献してまいります。2014年度は関東、近畿、中国地方での設置を予定しております。

当社は、創業以来「強い会社」を目指しています。そして今、「優しい会社」という新たなビジョンを加え、次の成長に向けて着実な一歩を歩んでいます。環境への配慮やISOへの取り組みなども含め、私たちは企業市民として、また食品中間流通業として、CSR(企業の社会的責任)活動の推進に努めます。私たちは、周囲の人々(ステークホルダー)にとって「強く優しい会社」でありたいと考えています。

環境・社会報告書

毎年1回、環境や社会への取り組みをまとめた「環境・社会報告書」を発行し、情報開示を行っています。



●詳細データ等は、ウェブサイトをご覧ください。
<http://www.katosangyo.co.jp/csr/>

地球温暖化防止

当社は、地球温暖化の原因となるCO₂などの温室効果ガスの排出削減に向けて、全社で取り組んでいます。

● 照明設備の省エネ化

物流センターにてベース照明として使用している水銀灯を“高効率蛍光灯”や“メタルハライドランプ”に変更するとともに、事務所等で使用されているFLRタイプの蛍光灯をHfタイプに変更することで、CO₂排出量の削減に取り組めます。

● 車輦台数の削減

物流業務委託先と連携し、車輦台数の削減や車輦待機時間の短縮及び積載量の最適化等を図ることで、CO₂排出量の削減に取り組めます。

循環型社会推進

当社は、限りある資源を有効活用するために、Reduce(発生抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再生利用)の【3R】を推進しています。循環型社会の構築に少しでも貢献できるよう日々努めています。

● 詰め替え用商品の開発・製造

「GREEN WOOD手造りジャム(530gシリーズ)」とその詰め替え用は、お客さまの声にお応えして作られた「環境配慮型商品」です。瓶容器は密閉保存瓶で再使用でき、詰め替えパックはごみの減量化を考慮して開発されました。



● エコキャップ活動

当社は、ペットボトルのキャップを集め再資源化し、それにより得た売却益で発展途上国の子どもたちにワクチンを贈る「エコキャップ活動」を推進しています。

活動を開始した2010年2月から2013年9月末までに34万8,360個が集まり、約405人分のワクチンを寄付したことになります。



グリーンウッド基金

当社の従業員が自主的に行っているクリーン活動(周辺地域のボランティア清掃)を、会社が支援する仕組みで賛助金を拠出し、積み立てる「KATO グリーンウッド基金」を設立し、幅広く社会に役立てています。

<平成25年度>基金が支援した協会・団体

- 国連WFP協会
- フードバンク関西
- 世界の子どもにワクチンを 日本委員会
- セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- 世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)
- 国際協力NGO ジョイセフ(JOICFP)
- その他、当社の拠点付近の社会福祉法人



フードバンク活動への協力

当社は、2008年から自社ブランド商品を対象として、賞味期限が1ヶ月以上有する商品や容器等が破損した商品など、品質に異常がないにもかかわらず廃棄処分をしていた商品を、「フードバンク活動」を推進している団体を通じて、非営利福祉団体や社会福祉施設等に無償提供しています。



工場見学

当社の生産部門である「乾物部」「上郡工場」では、地域の皆さまへの感謝の気持ちを込めて、近隣の小学生の工場見学を受け入れています。さらに、社会学習の一環として、「ごみの分別」や「リサイクル」などに関する環境学習も併せて実施しています。学習を受けられた子どもたちには、社会学習をされたことを示す「証明書」を発行し、お渡ししています。



連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

▶▶ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 平成25年9月30日現在	前連結会計年度 平成24年9月30日現在
資産の部		
流動資産	159,965	166,967
固定資産	81,834	76,331
有形固定資産	42,518	42,609
無形固定資産	3,941	3,812
投資その他の資産	35,374	29,909
資産合計	241,799	243,299
負債の部		
流動負債	144,235	155,559
固定負債	9,700	8,439
負債合計	153,935	163,999
純資産の部		
株主資本	81,616	76,249
資本金	5,934	5,934
資本剰余金	8,806	8,806
利益剰余金	67,738	62,371
自己株式	△862	△861
その他の包括利益累計額	4,992	2,045
その他有価証券評価差額金	4,991	2,044
繰延ヘッジ損益	0	0
少数株主持分	1,254	1,004
純資産合計	87,863	79,299
負債純資産合計	241,799	243,299

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

POINT 1 連結貸借対照表

●純資産合計

当期純利益70億52百万円の計上等により、前期に比べ85億63百万円増加し878億63百万円となりました。

▶▶ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 自平成24年10月1日 至平成25年9月30日	前連結会計年度 自平成23年10月1日 至平成24年9月30日
売上高	733,181	720,258
売上原価	682,769	669,370
売上総利益	50,412	50,887
販売費及び一般管理費	40,108	39,803
営業利益	10,303	11,084
営業外収益	1,321	1,422
営業外費用	270	352
経常利益	11,354	12,154
特別利益	100	64
特別損失	75	322
税金等調整前当期純利益	11,379	11,896
法人税、住民税及び事業税	4,236	4,921
法人税等調整額	△150	131
少数株主損益調整前当期純利益	7,293	6,843
少数株主利益	240	147
当期純利益	7,052	6,696

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

POINT 2 連結損益計算書

●当期純利益

法人税率の引下げ等により、前期に比べ5.3%増加し70億52百万円となりました。

▶▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 自平成24年10月1日 至平成25年9月30日	前連結会計年度 自平成23年10月1日 至平成24年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,490	9,860
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,012	△3,243
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,398	△2,484
現金及び現金同等物の増減額	6,080	4,132
現金及び現金同等物の期首残高	50,062	45,929
現金及び現金同等物の期末残高	56,142	50,062

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

▶▶ 連結株主資本等変動計算書

(自平成24年10月1日 至平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	その他の包括利益 累計額合計		
平成24年10月1日残高	5,934	8,806	62,371	△861	76,249	2,044	0	2,045	1,004	79,299
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△1,685		△1,685					△1,685
当期純利益			7,052		7,052					7,052
自己株式の取得				△1	△1					△1
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						2,946	0	2,947	249	3,197
連結会計年度中の変動額合計	—	—	5,367	△1	5,366	2,946	0	2,947	249	8,563
平成25年9月30日残高	5,934	8,806	67,738	△862	81,616	4,991	0	4,992	1,254	87,863

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

個別財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当事業年度 平成25年9月30日現在	前事業年度 平成24年9月30日現在
流動資産	138,759	140,973
固定資産	75,452	70,827
有形固定資産	37,245	37,490
無形固定資産	3,850	3,713
投資その他の資産	34,356	29,623
資産合計	214,211	211,800
流動負債	124,657	131,023
固定負債	8,156	6,788
負債合計	132,814	137,812
純資産合計	81,397	73,988
負債純資産合計	214,211	211,800

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

損益計算書

(単位:百万円)

科目	当事業年度 自平成24年10月1日 至平成25年9月30日	前事業年度 自平成23年10月1日 至平成24年9月30日
売上高	578,196	569,773
売上原価	540,475	531,442
売上総利益	37,721	38,330
販売費及び一般管理費	28,548	28,591
営業利益	9,172	9,739
経常利益	10,056	10,557
当期純利益	6,271	6,185

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

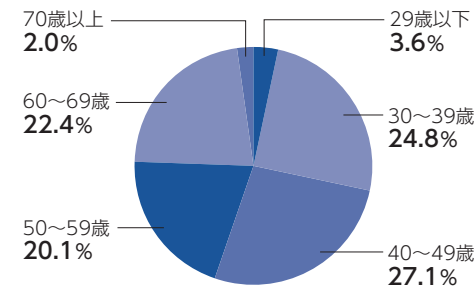
株主アンケート結果

Results of Shareholder's Questionnaire

第66期報告書で株主の皆さまにご協力をお願いしたアンケートにつきまして、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

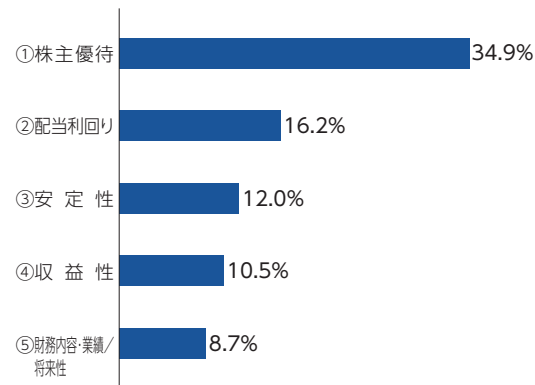
303名の方からご回答をいただき、その中から集計結果の一部をご報告させていただきます。

●ご回答者の年代別構成比



●当社株式に対する方針決定の際の重視ポイント

(複数回答 上位5位)



当社の株式に対しては、「株主優待」や「配当利回り」が特に重視されている結果となりました。今後も株主の皆さまのご期待にお応えできるよう、取り組んでまいります。

会社情報・株式情報

Corporate Data・Stock Information

▶▶ 会社概要

(平成25年9月30日現在)

名称	加藤産業株式会社
設立	1947年(昭和22年)8月22日
本社	兵庫県西宮市松原町9番20号
事業内容	総合食品卸売業、カンピー製品製造発売元
資本金	59億3,405万円
従業員数	977名

▶▶ 役員(取締役・監査役)及び執行役員

(平成25年12月20日現在)

代表取締役社長	加藤 和 弥	常勤監査役	弥谷 恵太郎
専務取締役	治居 義 継	常勤監査役	相良 広 基
常務取締役	小林 隆 夫	監査役	加藤 正 一
常務取締役	福島 和 成	監査役	山村 幸 治
常務取締役	破魔 重 美	執行役員	竹内 直 記
取締役	鷹尾 和 彦	執行役員	近藤 一 彦
取締役	木村 敏 弘	執行役員	岡崎 忠 勝
取締役	上島 浩 一	執行役員	打田 雅 俊
取締役	山中 謙 一	執行役員	菅 公 博
取締役	神月 豊	執行役員	中村 考 直
取締役	太田 尚 史		

▶▶ グループ会社

(平成25年9月30日現在)

会社名	事業内容	売上高(百万円)
◎ ケイ低温フーズ(株)	低温食品卸売業	82,822
◎ ヤタニ酒販(株)	酒類・食品卸売業	63,589
◎ 九州加藤(株)	食品卸売業	6,264
◎ マンナ運輸(株)	運送業	4,245
◎ 和歌山産業(株)	食品製造業	4,102
◎ 沖縄ロジスティクス(株)	物流業務請負業	13
◎ カトー菓子(株)	菓子卸売業	5,404
◎ 加藤不動産(株)	損害保険代理店業	226
◎ カトーロジスティクス(株)	運送業	3,835
○ カトー酒販(株)	酒類・食品卸売業	2,048
○ 兵庫興農(株)	食品製造業	1,265
○ カトー農産(株)	農産物卸売業	644
○ (株)アドバンス・キッチン	飲食業	137
○ 加藤SCアジアインベストメント(株)	海外事業投資業	—
△ 三陽物産(株)	酒類・食品卸売業	120,449
△ エス・エイ・エスジャパン(株)	酒類・食品卸売業	6,571

◎=連結子会社、○=持分法適用非連結子会社、△=持分法適用関連会社

▶▶ 株式の状況

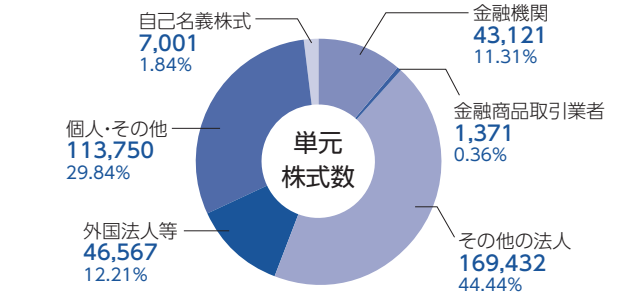
(平成25年9月30日現在)

発行可能株式総数 72,000,000株

発行済株式の総数 38,153,115株

株主数 8,895名 (内、単元株所有者数: 8,582名)

所有者別分布状況



※1単元の株式数=100株

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
住友商事株式会社	3,270	8.73
三井物産株式会社	3,153	8.41
三菱商事株式会社	1,787	4.77
加藤武雄	1,055	2.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,024	2.73
加藤和弥	905	2.41
キューピー株式会社	841	2.24
ハウス食品株式会社	838	2.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	798	2.13
加藤産業グループ会社従業員持株会	777	2.07

※持株比率は自己株式(700,105株)を控除して計算しております。